

いつも、人から。そして、心から。

猶興館高校・長崎国際大学
サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト
「身近な科学～薬学に迫る～」の実施

長崎国際大学では、長崎県立猶興館高校の理数科の生徒の皆さんと一緒に、薬学に関連した体験学習を行います。この体験学習は、文部科学省の「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業の一環としておこなうもので、今回のテーマは、「身近な科学—薬学に迫る—」で実施いたします。

1. 概要

サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)事業は、児童生徒の科学技術、理科、数学に対する興味・関心と知的探究心等を育成するとともに、進路意識の醸成及び分厚い科学技術関係人材層の形成を目的として、学校等と大学・科学館等との連携により、科学技術、理科、数学に関する観察、実験、実習等の体験的・問題解決的な学習活動を実施する際の経費支援等を独立行政法人科学技術振興機構が行う文部科学省の事業です。

猶興館高校と本学薬学部が行った平成 20 年度、平成 21 年度の「身近な科学—薬学にふれる—」というテーマから一歩進め、今年度は「身近な科学—薬学に迫る—」をテーマとしています。

私たちの身近でありながらあまり意識したことのない薬について、化学と生物など高校では独立した科目として学んでいる学習内容を、「薬学」というキーワードで横断的に関連付け、大学の教員の指導と学生のサポートのもとで、実例や実験を通して理論や原理を実際に体験します。

2. 参加者

1) 県立猶興館高等学校
理数科2年生: 40名

2) 長崎国際大学
薬学部教員: 14名、薬学部学生14名

3. 今回の講座の内容とスケジュール

■1日目 8/17(火)

(1)9:00 開講式 [姫野学部長・教授]

(2)9:20 講義 [小川准教授]

(3)10:20 くすりを創る(1) 「化学合成—アスピリン」(実習室4)
[山口(泰)教授、田中(啓)講師、萩森助教]

(4)14:00 遺伝子操作を体験 「光る大腸菌と光るマウス」(実習室1)
[和田教授、田中(宏)准教授、藤本助教]

■2日目 8/18(水)

(5)9:00 くすりを創る(2)「伝統のくすり—紫雲膏、葛根湯」(実習室2)
[正山教授、森永講師、宇都助教]

(6)13:00 抗原・抗体反応を見る「ヒツジ赤血球の凝集反応」(実習室1)
[岸原教授、藤木助教]

■3日目 8/20(金)

(7)9:00 くすりを使う「薬の作用は動物の行動から分かる!？」(実習室2)
[山本(経)教授、縄田助教]

(8)13:00 遺伝子操作 結果観察(実習室1)
[和田教授、田中(宏)准教授、藤本助教]

(9)15:00 薬学部研究設備見学

(10)15:30 まとめ 終了式
[榊原教授]

4. 連絡先

本事業の詳細については、以下までお問合せ下さい。

長崎国際大学 薬学事務室

TEL 0956-20-5611(直通)

長崎国際大学は平成22年に10周年を迎えました。
人間尊重を理念に、文化と健康を大切にする社会の実現に
引き続き貢献して参ります。

【この件に関するお問い合わせ】

長崎国際大学 教育改革推進室(担当:松永 または 安部)

TEL: 0956-39-2020 ☎: kaikaku@niu.ac.jp